

志賀郷 ヤマカミ 新聞

夏旅
第1期

地元の人も知らなかった、
新たな地域資源を発掘！



チームで一つのコトを
成し遂げる達成感。

企画 内容

学生が新聞記者となり、地域住民へのインタビューや地域を探索する事を通して地域の魅力を発見し、それを新聞にまとめる。この活動を通して、志賀郷について深く知ること、ひいては京都府北部の「地域」を深く知り見つめ直すことを促す。

日程

平成25年8月20日(火)～8月26日(月)

活動 地域

京都府綾部市志賀郷町

協力 団体

ヤマカミ計画

評価

新聞を作成することを通じて、学生が志賀郷の魅力を発見するだけでなく、地域について深く考えるようになり、北部地域に大きな関心を持つようになった。また、チームで一つのものを作り上げる力やコミュニケーション能力が身につくと考えられる。新聞も志賀郷在住の人々にとっても興味深い読料。今後も発行してほしい。またヤマカミ計画として継続的に発行していきたい。(ヤマカミ計画)

参加 学生

京都文教大学、京都精華大学、京都教育大学大学院、龍谷大学など



岡田中 のレシビ

食文化「伝える」
プロジェクト

夏旅
第2期

食文化をどう伝えるか、
若者視点を活かせ！



食文化と地域の関わり
先人たちが培った
暮らしの智慧。

企画 内容

郷土色・保存食の継承を考えるSoil.Laboの活動に参加し、企画内容と情報発信について考察することで、その地域の食文化への知識を深めると共に、地域の人とコミュニケーションを取ることにより地域についての理解を深め、食文化と地域の関わり方について考えることを促す。

日程

平成25年8月29日(木)～9月3日(火)

活動 地域

京都府舞鶴市岡田中地域

協力 団体

Soil.Labo

評価

提案されたカフェの形式は地域の意見を反映した受入団体にとって有意義なものになった。学生は地域の人に積極的にインタビューを行い、コミュニケーション能力及び、地域への深い関心ができたと考えられる。また、大学の外でのプレゼンテーションも緊張していたが、練習を重ねる中で洗練され、今後の社会生活に直接活かせるものになった。(Soil.Labo、舞鶴サイト作成実行委員会など)

参加 学生

京都府立大学大学院、同志社大学、京都産業大学など



“暮らす” を考える フィールドワーク in 舞鶴

夏旅
第2期

人のいる所に暮らしあり。
舞鶴の「暮らし」を探れ！



企画 内容

舞鶴の生活情報サイト作成企画に参加することを通して、「暮らす」ことについて再考し、ひいては地域について考察することを促す。

日程

平成25年8月29日(木)～9月3日(火)

活動 地域

京都府舞鶴市全域

協力 団体

一般社団法人 torindo

評価

参加学生は学校の外側でインタビュー技法を学び、かつプレゼンテーションを体験したコミュニケーション能力や社会人としてのマナーが身に付いたと考えられる。また評価者たちもサイトに関する意見を交換する中で地域への関心が深まり、今後のキャリア形成の選取に京都府北部地域が加わったと考えられる。(torindo、舞鶴サイト作成実行委員会など)

参加 学生

立命館大学、京都精華大学、京都産業大学など



京丹後 × 大学生 in 網野

夏旅
第2期

他大学とのコラボで「観光」
について本気で向き合う！



「観光」と「暮らし」、
観光の目指すところとは？

企画 内容

網野町での現地調査やインタビュー等を通して、「観光」と「暮らす」の視点を考える。これらの活動を通して、京都府北部地域への関心を喚起すると共に北部地域への洞察を深め、区長や街の人たちに話す中でマナーやコミュニケーション能力を身につける。

日程

平成25年8月29日(木)～9月3日(火)

活動 地域

京都府京丹後市網野町

協力 団体

京丹後市

評価

参加学生は積極的にインタビューや地元における映像撮影を行い、専ら間も惜しんで毎晩議論を行った。なおインタビューから面白い言葉も与えられ、一般論的に考えていた「観光による地域振興」について深く考える契機となった。地域に関する洞察力はもたらぬこと、インタビューを通してコミュニケーション能力も身についた。

参加 学生

京都府立大学、京都産業大学、龍谷大学など

